

営農条件の改善による高収益作物の導入 ～農事組合法人 ファーム北条～

経営体の概要

事業実施前：平成27年

基幹作物：水稻、飼料用米、いちご

経営面積：9ha

現在：令和7年

基幹作物：水稻、飼料用米、はだか麦、
さといも、メロン、いちご

経営面積：30ha

土地改良事業による生産基盤（農地、農業水利施設等）の変化

【事業実施前】

- 水田区画や耕作道路が狭小で、効率的な農作業が行えない。

- 河川の中・下流域周辺では降雨時に慢性的な湛水が発生。



【現在】

- 国道前平野土地改良事業（平成28年～）を通じた水田の区画拡大、暗渠排水や農道の整備等により、作業効率が向上し、営農条件が大幅に改善。

- 担い手への農地の集積・集約化が進み、経営規模が拡大。



営農改善、経営転換等のポイント

①経営体制の変化

法人の代表は、地域農業・農地を守り次世代に託すためには、整備した農地を借り受ける組織づくりが必要と考え、本事業を契機に、地区内の稲作兼業農家の有志5名と平成30年11月に「農事組合法人ファーム北条」を設立した。

現在は法人が主導して他の農家との土地利用調整を行い、北条新田団地の農地集積率は53%まで向上している。



自動給水栓と法人代表

②経営規模拡大・高収益作物導入

本事業により農地の大区画化、乾田化が図られたことで、大型機械の導入が可能となった。大型機械や事業にて整備された自動給水栓の導入等により、農作業時間の節減が図られたことで、経営規模が大幅に拡大するとともに、水稻栽培における品種・作型の選択肢が増え、主食用米で3品種（5作型）、飼料用米1品種（1作型）を作付することができ、農作業時間のピークを分散することに成功している。

また、事業にて暗渠排水や排水機場の整備が行われ、湿害を原因とした生育不良が減少した。

さらに、農作業時間の節減により余剰労力が生まれたことで、裏作として、はだか麦の導入や、転作として、さといも、施設園芸（メロン、いちご）といった高収益作物を導入することが可能となり、収益性の改善・経営の安定化に寄与している。



作型が異なる水稻

事業概要

事業種：国営緊急農地再編整備事業

関係市町：愛媛県西条市

受益面積：681ha

事業期間：平成28年度～令和11年度

事業目的：区画整理、排水改良

主要工事：区画整理 654ha、排水改良 323ha

位置図



<問い合わせ先>

中国四国農政局
農村振興部農地整備課
営農指導係
電話：086-224-4511
(内線：2562)

(令和7年度調査時点)